

## 〔資料〕毎日新聞社・埼玉大学社会調査研究センター 共同世論調査「日本の世論 2017」結果

埼玉大学社会調査研究センターと毎日新聞社が定例で実施する全国世論調査「日本の世論」も、2017 年で 5 回目を迎えた。

同調査は 2 つの特徴を有している。第 1 は、自記式の郵送調査であること。報道機関が頻繁に実施する電話世論調査とは異なり、自記式の郵送調査は、調査の対象者自身が質問を読み、回答を記入する方法である。通常の世論(RDS)調査が、日々のトピックに関する簡易的なレファレンダムだとすれば、われわれの「日本の世論」調査は、基本的なチェック項目に関する、年 1 回の、いわば定期健診に相当しよう。

第 2 は、「寄付付き」を採用していること。回答者全員に図書券などの謝礼を贈る通常の郵送調査とは異なり、謝礼相当額を寄付してもらい、世論調査への回答が社会貢献につながるという仕組みである。調査票の最後に複数の寄付先リストを提示し、「いずれかの寄付先を選択するか、謝礼を受け取るか」を問うている。結果は、寄付先を選択した人が 64% (昨年=68%)、謝礼が 23% (同 21%) であった (後掲の「寄付報告書」を参照されたい)。

今回から、調査方法に関して、スマートフォンによる回答もできるように変更した。回答者の年齢層は、郵送は 60, 70 代が多かったのに対し、スマホは 30, 40 代が多数を占めた。パソコン(PC)を含むインターネット回答は、全体の 12% といまだ少数派ではあるものの、回答手段の変化の流れは明らである。回答者のうち、スマホを所有している人の割合は、この 5 年間で 5 割から 7 割に増えている。今後もスマホの活用を継続し、回答率の維持・向上に努めたい。

「日本の世論」調査では、固定の継続質問をいくつか採用しており、日本人の意識の推移を確認することができる。5 回の調査を通じ、「今の暮らしには満足しているが、将来には不安がある」という傾向に変わりはない。「安定的停滞」とでもいべき状態が続いている (後掲の継続質問に関する経年結果を参照されたい)。

今回の調査は、開始時期に衆院の解散・総選挙が重なり、結果は自民党が大勝した。ただ、安倍内閣への支持率は、前回 16 年の調査結果とあまり変化がなかった。株価の上昇や失業率の低下など経済指標は好転しており、「政府はよくやっている」と思う人もいるだろう。一方で「政策に期待してもしょうがない」と、政治への期待値を下げている面もあるのではないか。

日本政治の主要なテーマとなりつつある憲法改正をめぐることは、賛否が割れた。調査結果を見る限り、有権者にはまだ現実味をもって受け止められていないようである。今後は、どのような手続きを踏んで憲法改正の議論を進めていくかが重要になるだろう。政治的プロセスへの評価が、改正案の中身以上に賛否を左右する可能性がある。調査結果の報道を含むマスコミ世論調査のトータルな真価が問われよう。

〈調査の方法〉 全国の有権者 2,400 人を対象に、10 月 10 日に告知はがき、同 18 日に質問票を郵送し、19 日よりインターネットでの回答も受け付けた。ネットでは、今回からパソコンに加えスマートフォンでも回答できるようにした。12 月 6 日までに、郵送ないしネットで回答を得た有効回答は 1,353 (有効回答率 56%)。

(文責：松本 正生)

## 時事問題調査「日本の世論 2017」（寄付つき）

毎日新聞社は、埼玉大学社会調査研究センターと共同で、くらしや外交、憲法などに関する世論調査を実施します。

全国の選挙人名簿から、選挙管理委員会の承認を得て無作為に 2400 人の方を選びましたところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。ぜひご意見をお聞かせください。お答えは統計的に処理し、「賛成〇%」といった形で分析しますので、お名前や回答内容が外部に出ることはありません。個人情報、調査終了後速やかに廃棄します。

この調査はお答えくださった方お一人につき 500 円を、毎日新聞社が社会事業団体へ寄付する「寄付つき世論調査」です。ご協力いただいた方には寄付報告書と、12 月掲載予定の調査結果を報じた毎日新聞記事をお送りします。

インターネット（スマートフォン、パソコン）でご回答いただけます。

スマートフォンの場合、QRコードから回答画面に入り、説明にそって  
右の番号を入力してお答えください。



パソコンの場合、毎日新聞ニュースサイト右下「毎日新聞からのお知らせ」の  
コーナーで「日本の世論 2017」をクリックし、説明にそって右の番号を入力して  
お答えください。

回答ページ URL は <https://engsrv.mainichi.co.jp/poll/index.html>

11 月 5 日（日）までにご回答いただき、郵送は同封の封筒（切手不要）でご返送ください。

お問い合わせ先：毎日新聞社 世論調査室 Tel：03-3212-1339/E-mail：yoron1920@mainichi.co.jp

\*（ ）内の数字は 2016 年の結果

必ず封筒の宛名のご本人様がお答えください  
当てはまる番号に○をおつけください

問1 あなたは安倍内閣を支持しますか、支持しません  
か、それとも関心がありませんか。（一つだけ番号に○）

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 支持する  | 40 (44) |
| 2. 支持しない | 41 (32) |
| 3. 関心がない | 18 (23) |

問2 あなたはどの政党を支持していますか。

（一つだけ番号に○）

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1. 自民党        | 35 (36) |
| 2. 希望の党       | 7       |
| 3. 公明党        | 4 (4)   |
| 4. 共産党        | 3 (5)   |
| 5. 日本維新の会     | 3 (4)   |
| 6. 民進党        | 1 (10)  |
| 7. 立憲民主党      | 12      |
| 8. 自由党        | 0       |
| 9. 社民党        | 1 (1)   |
| 10. 日本のこころ    | 0 (1)   |
| 11. その他の政治団体  | 0 (1)   |
| 12. 支持する政党はない | 33 (38) |

問3 あなたは今の生活に満足していますか。

（一つだけ番号に○）

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 大いに満足している   | 4 (4)   |
| 2. ある程度、満足している | 61 (58) |
| 3. あまり満足していない  | 29 (30) |
| 4. 全く満足していない   | 6 (7)   |

問4 あなたは現在、どの程度幸福と感じていますか。

（一つだけ番号に○）

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1. 大いに感じている   | 9 (9)   |
| 2. ある程度、感じている | 67 (65) |
| 3. あまり感じていない  | 20 (22) |
| 4. 全く感じていない   | 4 (4)   |

次のページの間5に進んでください



問5 10年後の日本は今より住みやすい国になっていると思いますか、思いませんか。(一つだけ番号に○)

1. 思う 9(8)
2. 思わない 60(61)
3. わからない 29(30)

問6 あなたの世帯では、去年の今ごろと比べて、ひと月に使うお金が増えましたか、減りましたか。(一つだけ番号に○)

1. 増えた 39(39)
2. 減った 19(20)
3. 変わらない 41(39)

問7 あなたが今、最も不安に思うことを次の中から選んでください。(一つだけ番号に○)

1. 老後の生活 43(44)
2. 自分や家族の健康 22(23)
3. 就職や雇用 5(6)
4. 出産や子育て 4(3)
5. 地震などの災害 8(11)
6. テロや戦争 11(5)
7. その他 3(3)

[ ]

問8 今の日本社会を以下に挙げる五つの層に分けたとすると、あなた自身はどれに入ると思いますか。(一つだけ番号に○)

1. 上 1(1)
2. 中の上 18(17)
3. 中の下 40(37)
4. 下の上 22(23)
5. 下の下 7(7)
6. わからない 9(12)

問9 米国、中国、韓国、ロシア各国との関係についておたずねします。

a) 四つの国に対し、どの程度「親しみ」を感じますか。それぞれの国について5点満点でお答えください。(一つだけ番号に○)

	米国	中国	韓国	ロシア
感じる	5	5	5	5
↑	4	4	4	4
	3	3	3	3
↓	2	2	2	2
感じない	1	1	1	1

米国 3.4 (3.6) 中国 1.9 (1.7)

韓国 2.1 (2.2) ロシア 1.8 (1.8)

b) 四つの国と日本との10年後の関係は、現在と比べてどう変化していると思いますか。それぞれの国について5点満点でお答えください。

(一つだけ番号に○)

	米国	中国	韓国	ロシア
良くなっている	5	5	5	5
↑	4	4	4	4
	3	3	3	3
↓	2	2	2	2
悪くなっている	1	1	1	1

日米 3.3 (3.3) 日中 2.3 (2.1)

日韓 2.4 (2.4) 日露 2.4 (2.5)

問10 あなたが重視する政策を選んで下さい。

(いくつでも番号に○)

1. 子育て支援 36
2. 原発・エネルギー政策 31
3. 外交・安全保障 36
4. 年金・医療 74
5. 消費増税 28
6. 憲法改正 21
7. 景気対策 45
8. 震災からの復興 25

次のページの間11に進んでください

問 11 社会保障の給付と、国民負担についてうかがいます。あなたの考えに近いのは、次のどちらですか。

(一つだけ番号に○)

- |                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1. 社会保障制度を充実させるため、国民の負担が高くなるのはやむを得ない | 46 |
| 2. 国民の負担を抑えるために、社会保障制度のサービス低下はやむを得ない | 23 |
| 3. わからない                             | 28 |

問 12 消費税率 10%への引き上げが、2019 年 10 月に予定されています。あなたは、消費税率の引き上げに賛成ですか、反対ですか。(一つだけ番号に○)

- |       |    |
|-------|----|
| 1. 賛成 | 37 |
| 2. 反対 | 61 |

問 13 今の公的な年金制度が、あなたの老後を支えてくれると思いますか。(一つだけ番号に○)

- |               |    |
|---------------|----|
| 1. 支えてくれると思う  | 19 |
| 2. 支えてくれないと思う | 65 |
| 3. わからない      | 14 |

問 14 公的な年金制度の将来について、どんなことを特に心配していますか。(一つだけ番号に○)

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 今よりも年金の給付額が減る          | 43 |
| 2. 支給の開始年齢が引き上げられる        | 17 |
| 3. 国の財政が破綻し、年金制度を維持できなくなる | 35 |
| 4. 特に心配していない              | 3  |

問 15 公的な年金の支給年齢は現在、原則 65 歳です。あなたは、この年齢の引き上げに賛成ですか、反対ですか。(一つだけ番号に○)

- |       |    |
|-------|----|
| 1. 賛成 | 29 |
| 2. 反対 | 69 |

問 16 老後の生活費として、公的年金以外にあてにしているものは何ですか。(いくつでも番号に○)

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 預貯金                | 62 |
| 2. 家族からの援助            | 8  |
| 3. 退職金                | 26 |
| 4. 家賃、利息など資産運用の収入     | 6  |
| 5. 民間の年金（個人年金や確定拠出年金） | 23 |
| 6. 財産相続               | 4  |
| 7. 仕事で得る収入            | 44 |
| 8. 生活保護               | 6  |
| 9. わからない              | 11 |

問 17 希望する人を 65 歳まで雇用するよう企業に義務づける制度が段階的に実施されており、政府は、65 歳を超えて働き続けられる環境を整えようとしています。あなたは何歳まで働く予定ですか。すでに引退された方は、その年齢をお書きください。

[ 66.9 歳 ]

(年代)	20 代	0	50 代	2
	30 代	0	60 代	52
	40 代	1	70 代	36
			無回答	9

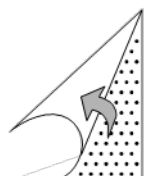
問 18 あなたは、老後になっても、可能な限り働いていたいと思いますか。すでに退職後の方は、今の思いについてお答えください。(一つだけ番号に○)

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 働いていたいと思う   | 55 |
| 2. 働いていたくないと思う | 30 |
| 3. わからない       | 13 |

問 19 あなたは、老後になっても、暮らしていくために働かざるをえないと思いますか。すでに退職後の方は、今の思いについてお答えください。(一つだけ番号に○)

- |                   |    |
|-------------------|----|
| 1. 働かざるをえないと思う    | 65 |
| 2. 働かざるをえないとは思わない | 20 |
| 3. わからない          | 13 |

次のページの間 20 に進んでください



問20 貧しい家庭の子どもが貧しさから抜け出せない「貧困の連鎖」が指摘されています。貧しさから抜け出すために、あなたが最も大きな要素だと思うものを選んでください。(一つだけ番号に○)

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 当人や親など家族の努力      | 23 |
| 2. 貧しい家庭への現金支給や就労支援 | 15 |
| 3. 教育の無償化や学習支援      | 52 |
| 4. わからない            | 8  |

問21 子どもが人並みの生活を送るために、あなたが人並みだと思うものを選んでください。

(いくつでも番号に○)

- |  |    |
|--|----|
| 1. 具合が悪ければ、医者に行ける                      | 83 |
| 2. 携帯電話かスマートフォンを持ち、メールやLINEなどで友達と連絡できる | 21 |
| 3. 周りの友達がほとんど持っているゲームソフトやマンガを持っている     | 8  |
| 4. 希望すれば、学習塾や予備校に通える                   | 40 |
| 5. 旅行や娯楽施設(遊園地)等に、年に1度以上は行ける           | 29 |
| 6. 部活動や習い事に通える                         | 44 |
| 7. 食事が、毎日3回とれる                         | 82 |
| 8. 学力さえあれば、高校や大学に行ける                   | 70 |

問22 政府が目指す幼児教育や保育の無償化には、新たな財源が必要です。あなたは、どのように財源を負担した方がいいと思いますか。(一つだけ番号に○)

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 子どものいる世帯が負担する                | 13 |
| 2. 子どものいる・いないにかかわらず、国民一般で広く負担する | 66 |
| 3. わからない                        | 19 |

問23 選挙で投票するとき、あなたは、政党の方を重視して投票しますか、それとも候補者個人の方を重視して投票しますか。(一つだけ番号に○)

- |          |    |
|----------|----|
| 1. 政党    | 48 |
| 2. 候補者個人 | 39 |
| 3. わからない | 12 |

問24 あなたは次の意見の中で、どれに賛成しますか。(一つだけ番号に○)

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 個人が幸福になって、初めて国全体がよくなる        | 39 |
| 2. 国全体がよくなって、初めて個人が幸福になる        | 20 |
| 3. 国全体がよくなることも、個人が幸福になることも同じである | 40 |

問25 仕事を選ぶとき、あなたが最も重視することは何ですか(一つだけ番号に○)

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 失業や生活不安の心配がないこと  | 36 |
| 2. 気の合った人たちと一緒に働くこと | 12 |
| 3. 自分の個性や能力を発揮できること | 40 |
| 4. よい給料がもらえること      | 10 |

次のページの間26に進んでください

問 26 あなたは日ごろ、憲法について考えることがありますか。(一つだけ番号に○)

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. よくある   | 7  |
| 2. 時々ある   | 31 |
| 3. あまりない  | 48 |
| 4. まったくない | 13 |

問 27 あなたは、自分の日常生活に、憲法が関係していると思いますか、思いませんか。(一つだけ番号に○)

- |         |    |
|---------|----|
| 1. 思う   | 64 |
| 2. 思わない | 34 |

問 28 憲法は義務教育を無償と定めています。義務教育以外も無償化するためには、新たな財源が必要です。あなたは、憲法を改正して、大学などの高等教育も無償化を義務づけることに賛成ですか、反対ですか。

(一つだけ番号に○)

- |          |    |
|----------|----|
| 1. 賛成    | 31 |
| 2. 反対    | 44 |
| 3. わからない | 24 |

問 29 安倍首相は、憲法 9 条の 1 項と 2 項はそのままにして、自衛隊の存在を明記する改正案に言及しました。あなたはこの案に賛成ですか、反対ですか。

(一つだけ番号に○)

- |       |    |   |           |
|-------|----|---|-----------|
| 1. 賛成 | 45 | ⇒ | 問 29 a) へ |
| 2. 反対 | 50 | ⇒ | 問 29 b) へ |

#### 「1. 賛成」と答えた方へ

問 29 a) あなたが賛成する理由にもっとも近い考えを選んでください。(一つだけ番号に○)

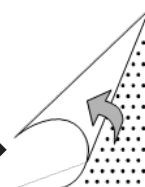
- |   |    |
|---|----|
| 1. 自衛隊の存在が憲法違反とされる恐れがなくなるから               | 25 |
| 2. 自衛隊員の士気が上がると思うから                       | 4  |
| 3. 核・ミサイル開発を進める北朝鮮など日本の安全保障環境の変化に対応すべきだから | 66 |
| 4. 安倍首相による憲法改正だから                         | 1  |
| 5. その他                                    | 2  |

#### 「2. 反対」と答えた方へ

問 29 b) あなたが反対する理由にもっとも近い考えを選んでください。(一つだけ番号に○)

- |   |    |
|---|----|
| 1. 戦力不保持を定めた憲法 9 条の意味が損なわれてしまうから              | 42 |
| 2. 自衛隊を疑いなく合憲にするには、憲法 9 条を変更して軍隊を持てるようにすべきだから | 8  |
| 3. 自衛隊はすでに国民に認められた存在であり、憲法改正は不要だから            | 35 |
| 4. 安倍首相による憲法改正だから                             | 10 |
| 5. その他  | 3  |

次のページの質問に進んでください



◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために  
いくつかお伺いします。

F 1 あなたは男性ですか、女性ですか。

(一つだけ番号に○)

- |       |         |
|-------|---------|
| 1. 男性 | 49 (47) |
| 2. 女性 | 51 (53) |

F 2 あなたは何十代ですか。(一つだけ番号に○)

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1. 18・19 歳  | 2 ( 1)  |
| 2. 20 代     | 8 ( 9)  |
| 3. 30 代     | 13 (12) |
| 4. 40 代     | 17 (17) |
| 5. 50 代     | 15 (17) |
| 6. 60 代     | 23 (22) |
| 7. 70 代     | 16 (16) |
| 8. 80 代     | 5 ( 6)  |
| 9. 90 代     | 1 ( 1)  |
| 10. 100 歳以上 | - ( -)  |

F 3 あなたの主たるご職業は何ですか。

(一つだけ番号に○)

- |              |            |         |
|--------------|------------|---------|
| 1. お勤め       | ⇒ F 3 a) へ | 49 (47) |
| 2. 自営業主、自由業者 | ⇒ F 3 a) へ | 9 ( 8)  |
| 3. 家族従業      | ⇒ F 3 a) へ | 1 ( 2)  |
| 4. 農業・林業・漁業  | ⇒ F 3 a) へ | 3 ( 3)  |
| 5. 専業主婦(夫)   |            | 14 (16) |
| 6. 学生        |            | 3 ( 3)  |
| 7. その他〔      | 〕          | 2 ( 2)  |
| 8. 仕事をしていない  |            | 18 (17) |

「1. お勤め」「2. 自営業主、自由業者」「3. 家族従業」  
「4. 農業・林業・漁業」と答えた方へ

F 3 a) あなたは、次のどれにあてはまりますか。

(一つだけ番号に○)

- |                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| 1. 経営者、役員、管理職                   | 22 (22)  |
| 2. 正社員、正職員                      | 40 (41)  |
| 3. パート、アルバイト、契約社員、<br>臨時社員、嘱託社員 | 32 (32)  |
| 4. 派遣社員                         | 1 ( 1)   |
| 5. その他〔                         | 〕 4 ( 3) |

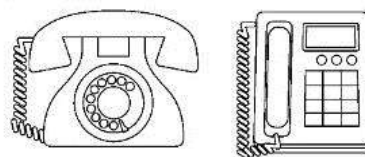
F 4 あなたにはお子さんがいますか。過去にいた方は「いる」とお答えください。(一つだけ番号に○)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1. いる  | 71 (70) |
| 2. いない | 27 (27) |

F 5 あなたのご自宅にある通信・通話・情報機器はどれですか。(いくつでも番号に○)

固定 81 (82) 携帯 53 (60) スマートフォン 70 (65)  
タブレット 32 (34) パソコン 66 (67)

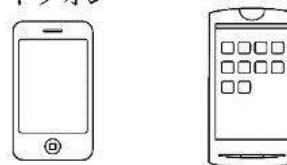
1. 固定電話



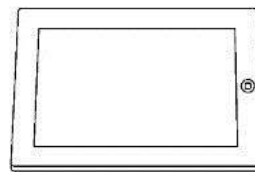
2. 携帯電話



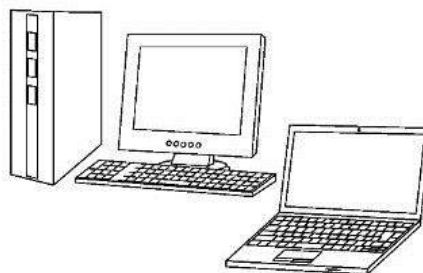
3. スマートフォン



4. タブレット端末



5. パソコン



次のページの質問に進んでください

F 6 あなたは家から電話をかける時、主に固定電話を使いますか、携帯電話やスマートフォンを使いますか。(一つだけ番号に○)

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 1. 固定電話         | 30 (32) |
| 2. 携帯電話・スマートフォン | 68 (65) |
| 3. 電話をかけない      | 2 (2)   |

F 7 あなたは普段、パソコンやスマートフォンでインターネットを使用する際に、何をしますか。

(いくつでも番号に○)

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| 1. メールなどのコミュニケーション ⇒ F 7 a) へ | 56 (60) |
| 2. 情報の検索や収集                   | 65 (66) |
| 3. 映像や音楽を視聴する                 | 30 (33) |
| 4. 買い物                        | 33 (34) |
| 5. ゲーム                        | 18 (23) |
| 6. インターネットは使用しない              | 15 (16) |

#### 「1. メールなどのコミュニケーション」と答えた方へ

F 7 a) コミュニケーションには何を利用しますか。

(いくつでも番号に○)

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1. メール        | 81 (84) |
| 2. フェイスブック    | 22 (23) |
| 3. ツイッター      | 16 (15) |
| 4. ライン (LINE) | 79 (69) |
| 5. インスタグラム    | 15 (13) |
| 6. ミクシィ       | 1 (4)   |
| 7. その他 [      | 1 (1)]  |

F 8 あなたの世帯の年収合計 (昨年1年間分) についてお答えください。(一つだけ番号に○)

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 300 万円未満           | 30 |
| 2. 300 万円以上、500 万円未満  | 28 |
| 3. 500 万円以上、800 万円未満  | 24 |
| 4. 800 万円以上、1000 万円未満 | 6  |
| 5. 1000 万円以上          | 8  |

F 9 あなたのお住まいの形態についてお答えください。(一つだけ番号に○)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 賃貸   | 21 (22) |
| 2. 持ち家  | 75 (74) |
| 3. それ以外 | 4 (4)   |

F 10 あなたが最後に在籍した (または今、在籍している) 学校を選んでください。(一つだけ番号に○)

- |                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 中学校 (旧制高等小学校含む) | 12 |
| 2. 高校卒 (旧制中学含む)    | 39 |
| 3. 高専・短大・専修学校      | 20 |
| 4. 大学 (旧制高専含む)     | 25 |
| 5. 大学院 (修士・博士)     | 2  |
| 6. わからない           | 0  |

F 11 あなたは、下記のような組織や団体に加入していますか。(いくつでも番号に○)

① 38 ② 14 ③ 30 ④ 41

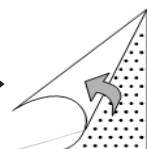
- |    |     |             |
|----|-----|-------------|
| 1. | 青年団 | 自治会 (町内会など) |
|    | 消防団 | 老人クラブ (老人会) |
|    | 婦人会 |             |

- |    |          |              |
|----|----------|--------------|
| 2. | 労働組合     | 農協・農林漁業の関係団体 |
|    | 宗教団体     | 政治家の後援会      |
|    | 商工業関係の団体 |              |

- |    |     |             |
|----|-----|-------------|
| 3. | PTA | NPO・地域づくり団体 |
|    | 同窓会 | 同好会・趣味のグループ |

- |    |             |
|----|-------------|
| 4. | どれにも加入していない |
|----|-------------|

「500 円の謝礼」「寄付」について  
次の最終ページでお伺いします。





この調査は寄付とセットになっています。回答された方お一人につき 500 円を、毎日新聞社が社会事業団体に寄付いたします。寄付先の団体を下記より選んでください。選ばれなかった方の分は、あしなが育英会と日本赤十字社へ分割して寄付します。

(一つだけ番号に○)

**1. あしなが育英会** **36 (38)**

<http://www.ashinaga.org/>

災害や病気などで親を失った遺児への奨学金貸与、遺児の心のケア、遺児が住める学生寮の運営、アフリカ遺児の教育支援などの活動をしています。

**2. 日本赤十字社** **19 (20)**

<http://www.jrc.or.jp/>

国内外の人々の命と健康・尊厳を守るために、災害救護や国際活動をはじめ、救急法などの講習普及・医療・献血・社会福祉事業など幅広い活動をしています。

**3. 毎日新聞東京社会事業団** **9 (10)**

<http://www.mainichi.co.jp/shakaijigyo/>

児童福祉、高齢者福祉、身障者福祉のほか、災害救援金、海外難民救援金、小児がん征圧募金、毎日希望奨学金などの募金・助成活動をしています。

**4. 寄付ではなく謝礼** **23 (21)**

寄付のかわりに、回答された方に 500 円の図書カードをお送りします。

ご意見やご要望があれば、このページにご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

ご回答の日付をご記入ください。(      月      日)

お名前やご住所などに間違いや部屋番号の抜けがございましたら、後日お礼をお送りする際に失礼のないように、正しいお名前やご住所をご記入いただければ幸いです。

この回答用紙は、**11月5日(日)までに**  
**ご回答いただき、同封の封筒(切手不要)で**  
**ご返送ください。**

## 寄付報告書

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、毎日新聞社と埼玉大学社会調査研究センターが昨年秋に共同で実施した世論調査「日本の世論2017」にご協力いただき、誠にありがとうございました。調査結果を2017年12月21日(木)の毎日新聞朝刊に掲載しましたので、その記事をお送りいたします。

この世論調査は、ご回答者に謝礼(500円の図書カード)をお贈りする代わりに、謝礼相当額を社会事業団体に寄付する「寄付つき世論調査」という仕組みで、2013年から毎年実施しています。ご回答者には、「あしなが育英会」「日本赤十字社」「毎日新聞東京社会事業団」の3団体いずれかへの寄付か、「寄付ではなく謝礼」の選択肢から、ひとつをお選びいただきました。

寄付先を選択された方の人数に応じ、調査終了後、毎日新聞社が各団体へ寄付いたしました。寄付先を選ばれなかった方の分は「あしなが育英会」と「日本赤十字社」に分割して寄付させていただきました。

寄付先と寄付額は以下の通りです。

「あしなが育英会」	30万1500円
「日本赤十字社」	17万8500円
「毎日新聞東京社会事業団」	6万2000円

寄付先を選ばれた方にはこの寄付報告書と新聞記事を、謝礼を選ばれた方にはさらに図書カードを同封いたしました。どうぞご確認ください。

以上、寄付のご報告とさせていただきます。この度の世論調査へのご協力に、重ねて深くお礼申し上げます。

2018年1月18日

〒100-8051  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
毎日新聞社 世論調査室

## 郵送世論調査「日本の世論」 経年結果

問 あなたは安倍内閣を支持しますか、支持しませんか、それとも関心がありませんか。  
(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 支持する	50	44	40	44	40
2. 支持しない	28	31	39	32	41
3. 関心がない	20	23	19	23	18
無回答	2	2	2	1	1

問 あなたは今の生活に満足していますか。(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 大いに満足している	5	7	4	4	4
2. ある程度、満足している	60	58	58	58	61
3. あまり満足していない	27	28	29	30	29
4. 全く満足していない	7	7	8	7	6
無回答	1	0	0	0	0

問 あなたは現在、どの程度幸福と感じていますか。(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 大いに感じている	11	12	9	9	9
2. ある程度、感じている	65	64	66	65	67
3. あまり感じていない	20	20	21	22	20
4. 全く感じていない	3	3	3	4	4
無回答	1	0	0	1	0

問 10年後の日本は今より住みやすい国になっていると思いますか、思いませんか。  
(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 思う	10	9	10	8	9
2. 思わない	62	67	59	61	60
3. わからない	27	23	31	30	29
無回答	1	2	1	1	1

問 あなたの世帯では、去年の今ごろと比べて、ひと月に使うお金が増えましたか、減りましたか。  
(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2015	2016	2017
1. 増えた	41	39	39
2. 減った	19	20	19
3. 変わらない	38	39	41
無回答	2	2	1

問 今の日本社会を以下に挙げる五つの層に分けたとすると、あなた自身はどれに入ると思いますか。  
(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2014	2015	2016	2017
1. 上	2	1	1	1
2. 中の上	18	19	17	18
3. 中の下	41	37	37	40
4. 下の上	23	24	23	22
5. 下の下	5	6	7	7
6. わからない	10	10	12	9
無回答	2	3	3	2

F あなたのご自宅にある通信・通話・情報機器はどれですか。

(いくつでも番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 固定電話	86	82	81	82	81
2. 携帯電話	75	67	64	60	53
3. スマートフォン	48	53	61	65	70
4. タブレット端末	15	20	26	34	32
5. パソコン	67	65	66	67	66
無回答	—	3	4	1	1

F あなたは家から電話をかける時、主に固定電話を使いますか、携帯電話やスマートフォンを使いますか。

(一つだけ番号に○)

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. 固定電話	43	41	33	32	30
2. 携帯電話・スマートフォン	54	55	64	65	68
3. 電話をかけない	2	2	1	2	2
無回答	1	2	1	1	1

寄付先

選択肢／調査時期	2013	2014	2015	2016	2017
1. あしなが育英会	66	54	35	38	36
2. 日本赤十字社	—	—	19	20	19
3. 毎日新聞東京社会事業団	34	23	12	10	9
4. 寄付ではなく謝礼	—	—	20	21	23
無回答	—	23	14	12	14

\* 2013年は無回答を算出せずあしなが育英会に算入、14年は算出した上で無回答相当額をあしなが育英会に寄付、15、16年は算出した上であしなが育英会と日本赤十字社に分割して寄付。